

各 位

荒尾市農林水産課

ビャクシン類の植栽防止について

かねてより、荒尾梨の育成につきましては、関係各位の暖かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この荒尾梨は、本市特産として、関係機関をあげ育成に努めているところではありますが、今日ではおかげをもちまして、全国でも有数の梨の生産地となっております。

近年、庭造りや住宅の新築に伴い、杉に似た鑑賞木であるビャクシン類（貝塚伊吹、シンパク、三光杉、タマイブキ、ハイスギ等）の植栽が見受けられますが、これらの樹木は梨を全滅させる赤星病の中間宿主となり、梨の木にとっては致命的ともいえる有害植物であり、その被害は梨経営農家に大きな打撃を与えることとなります。

このため、これらを放置しておくとおそれが生じてきますので、梨農家の実情をご理解の上、荒尾市内に住宅等建築される時は、これらの樹木の植栽につきましては見合わせて、出来るだけ他の樹木に変えていただきますようお願いいたします。

梨の敵ビャクシンを追放して 名産荒尾梨を守りましょう！

■梨の脅威ビャクシン類とは



ミヤマビャクシン (シンパク)
カイツカイブキ



タマイブキ
ハイビャクシン



荒尾梨の脅威ビャクシンを植えないで！

杉に似た観賞木ビャクシン（カイツカイブキ）ミヤマビャクシン（シンパク）ハイビャクシン、タマイブキは新築住宅や庭づくりに最近よく植えられますが、実はこの樹は梨園にとって致命的といえる有害植物で、梨を全滅させる赤星病菌の中間寄生樹とし、その被害は梨園経営者を毎年なやませています。

この赤星病菌は7月頃から翌年3月頃までビャクシンに寄生越冬して4月初旬ごろこの病菌胞子が梨園に移動繁殖して被害をあたえ、消毒等の管理に努めてもその効果も思うようにあがらないものです。この植樹のおよぼす害はおおよそ梨周囲4Kmにおよぶといわれ、これまでのようにビャクシンの植栽家庭が増えてきますと、名産荒尾梨が全滅するおそれが生じてきます。

どうか皆様、この梨園経営者の苦しみをお考えいただき、現在ビャクシンを植える計画をもっている方は勿論、現在庭木として植えている方も、出来るだけ他の庭木に代えていただくようお願いしたいと思います。

梨の敵ビャクシンを追放して名産荒尾梨を守りましょう。

熊 本 県
荒尾市赤星病撲滅対策協議会
長 洲 町
岱 明 町